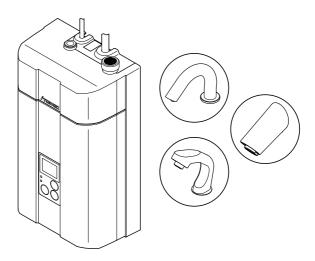


## 工事要領・取扱説明書

製品名:自動水栓付超小型電気瞬間湯沸器(元止式)

型 式:EIXM112,225A0- 🗆 🗆



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。設置工事(試運転)後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。 ※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません

株式会社目ボイトミック

# もくじ

	頁目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	٠3
	EIXMについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	٠6
	各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	…6
	仕 様	
	自動水栓について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	٠9
	各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	••9
丁重到	要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	~ 195 施工前にご確認ください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	<b>旭上前にこりには、</b> 1. 部品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2.設置場所の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	3.推奨メンテナンススペースについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	施工する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	1. 設置工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	2.配管工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
	3.電気工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	4.試運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	5.施工後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
取扱記		32
	・・・・ 使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	1. 使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2.出湯する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	3.各種設定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	4.表示の切替方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	お手入れの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
	保守点検項目と実施の目安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	凍結対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	長期間使用しないときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	外表の清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	自動水栓のお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	給湯接続チューブの取り外し方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	こんなときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	エラーコードについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	その他の表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	停電後の対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	アフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	消耗品について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	補修用性能部品について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	41冬+中方ごグ(を前(ハ)以(ス)こしさ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46

# 共通項目

安全上のご注意

## 安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

この製品は以下のような方がお独りでご利用になることを意図しておりません。この製品の安全なご利用方法 を理解された保護者、または介護者の補助のもとご利用ください。

・子供・当製品の使用において補助が必要な方 ※子供がこの製品で遊ぶことがないようにご注意ください。

## 警告表示の意味

本書では取り扱いを誤った場合などの危険の程度を次の2つのレベルに分類しています。



金告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』 内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



◇の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。 ◇の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は『分解禁止』を意味します。)



- ●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
- ●の中に、具体的な指示内容が描かれています。 (左図の場合は『アース工事を行うこと』という指示です。)

## 重要事項:必ずお守りください

## ⚠警告



アース(D種接地)工事を確認してください。

アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。

定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の 環境でお使いください。

故障、火災の原因となります。



**必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください**。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。

必ず機器1台につき1つのコンセントを用意してください。 複数の機器を接続すると故障、発火の原因となります。

機器本体は必ず給湯、給水接続口を上向きとし、壁面に垂直に設置してください。

漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

安全上のご注意

## ∧警告



本製品は1300Ω·cm以上の抵抗率(比抵抗)を有する水道水でご使用ください。

感電のおそれがあります。



絶対に改造はしないでください。

|火災、感電、やけどやケガの原因となります。



| 給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に | 直接触れないでください。

やけどのおそれがあります。

屋外に設置しないでください。

感電や故障の原因となります。

**本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください**。 発火のおそれがあります。



水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。

腐食や感電、故障の原因になります。

水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。

腐食や感電、故障の原因になります。

## / 注意

機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や漏水の原因となります。

機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでくだ さい。

落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。

凍結により破損、漏水の原因となります。



機器内部にエアが入るような配管接続をしないでください。 故障の原因となります。

水道水(上水)以外は使用しないでください。

井戸水など使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、感電の原因となります。

給水加熱装置などで加熱された水を接続しないでください。

誤動作、故障の原因となります。

給水接続配管は工具なしで着脱できる配管(ホースなど)で接続しないでください。

漏水、故障の原因となります。

安全上のご注意

## **注意**

規定の給水圧力 (静止圧) にてご使用ください。給水圧力が0.75MPa を超える場合には減圧弁を設け、調整してください。

誤動作、故障の原因となります。

満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置して ください。

落下の原因となります。

機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉・砂・シールテープ等)を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。

**給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください**。 漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してくだ さい。

漏水の原因となります。



**飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。** 健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。

漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

他所との同時使用により水圧変動が起こり、お湯の使用中に湯温が 急上昇することがあります。

やけどのおそれがありますので、水圧変動を抑えた配管設備にしてください。(分岐場所を遠くにするなど)

満水にしてから通雷してください。

故障の原因となります。

給水温度は必ず45℃以下でご使用ください。

誤動作、故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。

感電、発火のおそれがあります。

EIXMについて

## EIXMについて

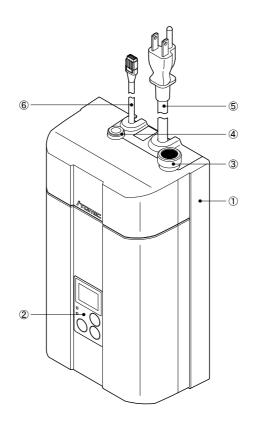
EIXMは手洗いに特化した超小型の壁掛型電気瞬間湯沸器です。

流量と水温を検知し、昇温に必要なヒーターへの電力供給を制御して、設定した温度で出湯するように水を加熱します。

付属の自動水栓と接続して使用します。

## 各部名称

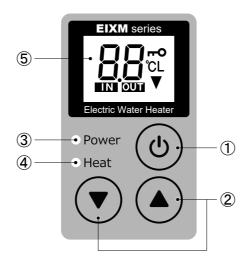
<本体部>



①正面ケース	②操作部(次ページ参照)	③給水接続口(G1/2 オネジ) ※逆止弁内蔵
④給湯接続口 (給湯チューブ接続)	⑤電源コード(1m)	⑥センサーケーブル(0.6m)

## EIXMについて

## <操作部>



①運転スイッチ	運転のON/OFFを切り替えるときに使用します。
②アップ/ダウンキー	設定値を上下させるときに使用します。
③運転ランプ(緑)	機器の運転中に点灯します。
④通電ランプ(赤)	ヒーター通電中に点灯します。
⑤表示部	現在温度、設定温度、流量などのパラメータを表示します。

## 液晶部の▼表示について

流量が加熱能力を上回った場合には、設定温度表示の右下に▼が点滅表示します。





## 仕 様

型番	EIXM112A0-FB/MK/SK	EIXM112A0-FB/MK/SK	
標準電源	単相100V	単相200V	
定格消費電力	1.25kW	2.5kW	
定格電流	12.5A	12.5A	
発生熱量	4.5MJ/h	9.0MJ/h	
設定温度範囲	約20~38℃	約20~45℃	
出荷時設定温度	32℃	37℃	
使用流量範囲	約0.8~1.2L/min(※1)		
満水質量	約2.5kg		
給水方式	元止め式		
使用圧力(静止時)	0.15∼0.75MPa		
一次側使用水温	45℃以下(凍結しないこと)		
設置環境温度	0~40℃(凍結しないこと)		
本体寸法	幅139×高さ237(※2)×奥行85mm		
設置場所	屋内		
待機電力	3W以下		
安全装置 異常時主回路遮断装置、温度センサー異常検出、給水温度異 出、ヒーター断線検出、制御リレー異常検出			

- (※1)・・・・使用流量範囲の最低流量以下では動作しません。
- (※2) ・・・・給水接続金具、電源コード部等の高さは除く。
- ★EIXMシリーズは流量が0.8L/minにならないとヒーターに通電しません。また、EIXM112A0は冬場 (給水温度5℃とする) の最大昇温可能温度が約20℃のため設定した温度のお湯を給湯することができない場合があります。

#### 昇温温度の目安

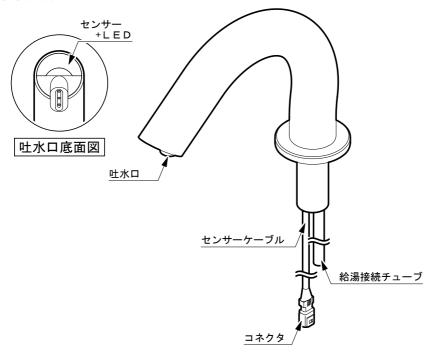
定格消費電力による流量ごとの昇温可能温度の目安です。 下表を参考に流量調整を行ってください。(流量の調整方法はP.29参照)

	100V (1.25kW)	200V (2.5kW)
0.8L/min	22.4℃	44.8℃
0.9L/min	19.9℃	39.8℃
1.0L/min	17.9℃	35.8℃
1.1L/min	16.3℃	32.6℃
1.2L/min	14.9℃	29.9℃

### 自動水栓について

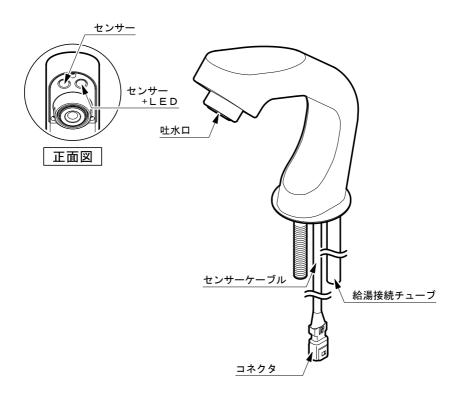
## 自動水栓について

## 各部名称



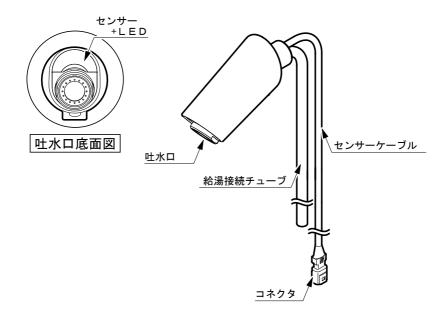
型本			番	FBタイプ
本	体	寸	法	幅 31×奥行 174×高さ 130mm
質			量	約0.6kg
取	付	穴	径	推奨値: φ28mm(許容範囲: φ24~35mm)
給	湯接続	チュー	ブ長	約0.9m
セ:	ンサーク	テーブ	ル長	約0.35m
連	続 出	湯明	計間	1分間
出	湯	流	量	約0.8~1.2L/min

## 自動水栓について



型			番	MKタイプ
本	体	寸	法	幅 33×奥行 130×高さ 149.5mm
質			量	約0.6kg
取	付	穴	径	推奨値:φ28mm(許容範囲:φ24~35mm)
給湯接続チューブ長		ブ長	約0.9m	
セ:	ンサーク	ァーブル	レ長	約0.35m
連	続 出	湯時	間	1分間
出	湯	流	量	約0.8~1.2L/min

### MEMO



TILL			777	
型			番	SKタイプ
本	体	寸	法	幅(根本) 41×奥行 77×高さ 68mm
質			量	約0.5kg
取	付	穴	径	推奨値:φ29mm(許容範囲:φ21~31mm)
給	湯接続	チュー	ブ長	約1.2m
セ	ンサーク	ケーブ	ル長	約0.65m
連	続 出	湯明	計間	1分間
出	湯	流	量	約0.8~1.2L/min

# 工事要領

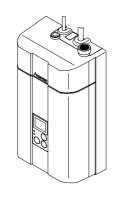
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

#### 施工前にご確認ください

## 施工前にご確認ください

## 1.部品の確認

## EIXM本体



#### 【製品に同梱されています】 —

### 付属品(共通)



木ネジ (呼び4.5×38)×2 (呼び3.1×10)×1



据え付け用型紙×1



ナイロンプラグ×2



工事要領·取扱説明書×1 当冊子です。工事終了後は湯沸器を で使用になる方へお渡しください。



壁掛金具×2



ネジ隠しプレート×1



インサートリング×1

## 付属品(型番により異なるもの) 自動水栓FBタイプ







パッキン×1 座金×1 固定金具×1 締め付けネジ×2

#### 自動水栓MKタイプ





取付座×1 取付ナット×1

#### 自動水栓SKタイプ











#### ①スパウト固定金具×1

- ② φ28~ φ31用取付ナット×1
- ③ φ25~ φ28用取付ナット×1
- ④ φ21~ φ25用取付ナット×1 ⑤パッキン(黒色)×1
- ⑥スリップワッシャー(半透明)×1
- ⑦両面テープ付きパッキン(黒色)×1
- ⑧六角穴付止めネジ×1

#### 施工前にご確認ください

#### — 【お客様にて必ずご手配ください】 ———

#### お客様手配品(→P.23「標準配管図」参照)

- ① ステンレスフレキ管 給水配管接続に必要です。
- ② パッキン、シールテープ 配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ③ 止水栓 流量の調節やメンテナンス等の際に給水を止めるため必要です。
- ④ 漏電ブレーカ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)

上記手配品を必ずご用意ください。

## 2.設置場所の確認

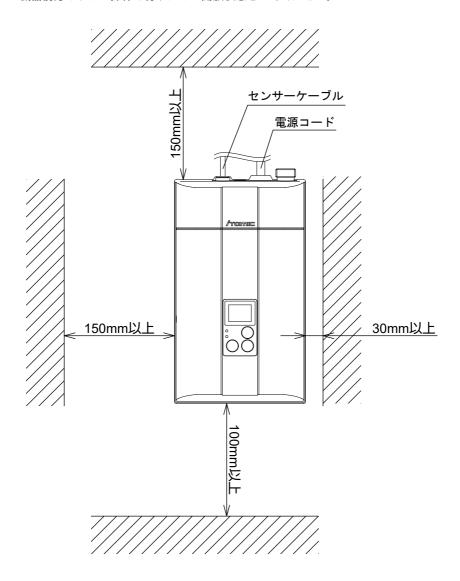
チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
	<b>凍結しない場所ですか?</b> 凍結する場所ではご使用になれません。	
設置環境	湯沸器1台に対して1つのコンセントが用意されていますか? 1つのコンセントに対し湯沸器を含めた他機器を複数接続することはやめてください。	
メンテナンス スペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか? (P.15参照) メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	
取付壁面	本体を取り付ける場所は垂直な壁面ですか? 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	
机小定间	満水質量に耐えられる壁面ですか? 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	
給水圧力	給水圧力は0.15MPa~0.75MPaの間になっていますか? 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、減圧弁を必ず取り付けてください。	
電圧	定格電圧の±10%以内ですか? 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の±10%以内の電圧であることを確認してください。	

## 施工前にご確認ください

## 3.推奨メンテナンススペースについて

機器のメンテナンスをする際に必要なスペースは以下の通りです。 機器前方はボタン操作を行うために開放状態としてください。



## 1.設置工事

- ●必ず給湯、給水接続口を上向きにして、壁面に垂直に設置してください。
- ●本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。

## 注意!

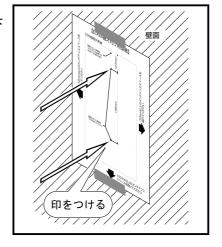
- ●電源コードが破損した場合は、技術者による交換が必要となります。ご依頼はアフターサービス窓口までご連絡ください。
- ●必ず付属の自動水栓をお使いください。 別の自動水栓と組み合わせての使用はできません
- ●自動水栓は必ず湯沸器より上に設置してください。

#### 湯沸器本体の設置(木製壁面の場合)

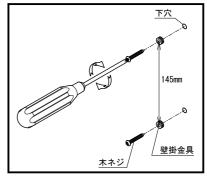
①付属品の据え付け用型紙をテープ等で壁面に貼り付け、機器を取り付ける壁面に下穴用の印をつけます。

各木ネジ用の下穴サイズは以下の通りです。

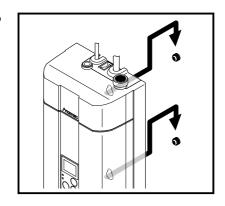
・呼び4.5用: φ3mm×40mm(深さ)・呼び3.1用: φ2mm×10mm(深さ)



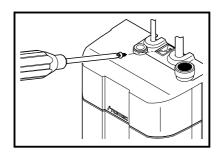
②壁掛金具を手順①で付けた印の位置に付属の木ネジ(呼び4.5×38)で固定します。 (2箇所)



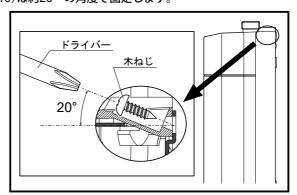
④湯沸器本体のダルマ穴を壁掛金具に引っ 掛けます。(2箇所)



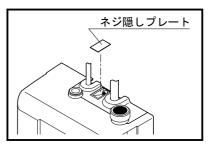
⑤湯沸器本体の上部を付属の木ネジ(呼び 3.1×10)で固定します。



※上部の木ネジ(呼び3.1×10)は約20°の角度で固定します。



⑥上部のネジ取り付け部分に付属のネジ隠 しプレートを貼り付けます。



※コンクリート製の壁面に設置する場合には付属のナイロンプラグを使用し、木ネジ(呼び4.5×38)を壁面に固定してください。(推奨下穴径:φ6mm)

#### 自動水栓の設置

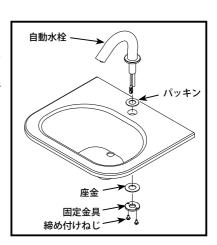
- ・自動水栓を取り付ける洗面器の推奨は「陶器製・ホーロー製・樹脂製」となります。
- ・ステンレスシンクや特に鏡面仕上げのシンクについては誤作動を 起こす可能性があります。



- ・シンクが小さい場合や浅い場合などで、センサーがシンク内面から 外れ、距離を正しく認識しないことがあります。この場合、人が水栓 の前に立つだけで出湯することがあります。
- ・反射率が良いシンクではセンサーから少しでも手がズレた場合に 出湯が止まる等、使用感に影響を及ぼすことがあります。
- ・センサーは赤外線を透過するガラスやステンレス製およびめっき 仕上げのコップ等を感知できない場合があります。

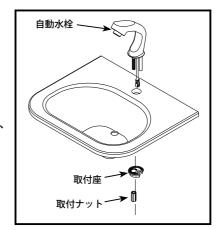
#### 【FBタイプの場合】

- ①自動水栓の設置場所に取付穴を開けてく ださい。(推奨穴径:  $\phi$ 28mm)
- ②座金をはさみ込み、固定金具を手で回して 水栓を固定します。(水栓を固定する位置 は取付穴に対し、出来るだけ中心の位置で 固定してください)
- ③締め付けねじを工具を使って締め付けます。



#### 【MKタイプの場合】

- ①自動水栓の設置場所に取付穴を開けてく ださい。(推奨穴径: φ28mm)
- ②取付穴にセンサーケーブル、給湯接続 チューブを通します。
- ③取付座の切り欠き部分にセンサーケーブル、給湯接続チューブを通し、ソケットレンチ等を使用し取付ナットを締め込みます。(水栓を固定する位置は取付穴に対し、出来るだけ中心の位置で固定してください)



※取付座の切り欠き部を通過させずに固定した場合、ケーブル破損や漏水などの不具合につながるおそれがありますのでご注意ください。



#### 【SKタイプの場合】

①自動水栓の設置場所に取付穴を開けてください。

(推奨穴径: \$29mm 適用範囲 \$21~31mm)

- ②取付穴に付属のスパウト固定金具・ス リップワッシャー・パッキン・両面テー プ付パッキン・取付ナットを付けます。
  - ※取付ナットは穴径にあった物を使用してください。

取付穴径別取付ナット



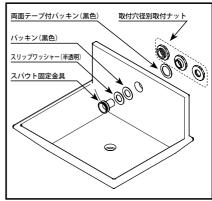


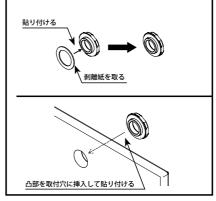


φ28 ~ 31 用 φ25 ~ 28 用 取付ナット 取付ナット (V 満あり)

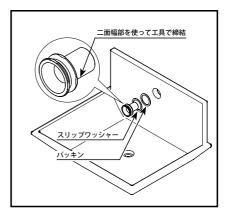
φ21 ~ 25 用 取付ナット

- ③最初に、両面テープ付パッキンの片面の 剥離紙を取り、取付ナットに貼り付けて ください。
- ④取付ナットに貼り付けた両面テープ付 パッキンのもう片方の剥離紙を取り、洗 面器(もしくはカウンター)裏面から取付 穴に合わせて貼り付けてください。

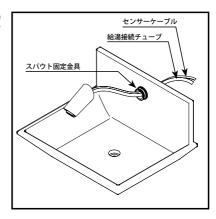




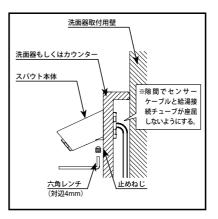
⑤スパウト固定金具にスリップワッシャー・パッキンの順にはめ込み、洗面器(もしくはカウンター)の表面から取付穴に挿入し、取付ナットへねじ込んで締結してください。



⑥センサーケーブル(灰色)を先に通し、その 後給湯接続チューブ(黒色)を通してくだ さい。



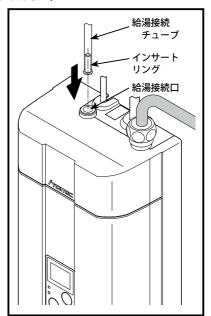
- ⑦スパウトを洗面器(もしくはカウンター) の面に密着させ、対辺4mmの六角レンチ を使用して止めねじで固定してくださ い。
- ※洗面器(もしくはカウンター)の裏面でセンサーケーブルと給湯接続チューブが座屈しないように注意してください。



## 2.配管工事

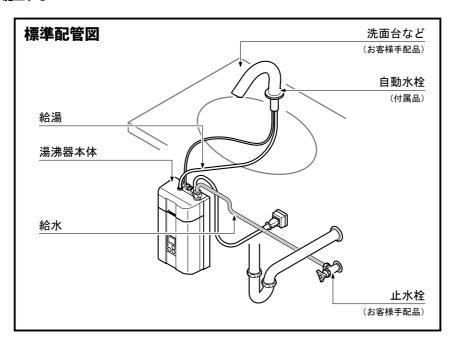
#### 配管工事はP.23『標準配管図』を参照し行ってください。

- ①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
- ②給水接続口に取り付けられているキャップを取り外した後、配管と接続してください。
- ③自動水栓の給湯接続チューブにインサートリングを取り付け、給湯接続口に挿し込んでください。
- ※給湯接続チューブの挿し込みやインサートリングの取付けが不十分な場合、漏水のおそれがあります。
- ※給湯接続チューブが長すぎる場合は チューブカッターなどで切断面が水平と なるように切断してください。
- ※吐水不良が起こる原因となるため給湯接続チューブは折れ曲がらないように施工してください。(ホースを束ねる場合は曲げ半径を30mm以上にしてください)





- ・袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。
- ・給湯接続チューブを挿し込んだ後に軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ・給湯接続チューブを取り外す際は、P.41『給湯接続チューブの取り 外し方法』を参照してください。

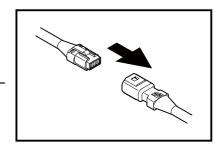


## 3.電気工事

電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

## 注意!

- ●電源コードが破損した場合は、技術者による交換が必要となります。ご依頼はアフターサービス窓口までご連絡ください。
- ●湯沸器1台につき1つのコンセントをご用意ください。
- ①電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。
- ②温水器側、自動水栓側それぞれのセンサー ケーブル先端にあるコネクタをしっかり と接続してください。
- ※濡れた手でコネクタに触れると故障の原因となりますので、ご注意ください。

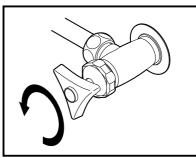


## 4.試運転

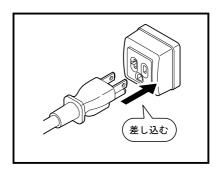
- ①運転ランプ(緑色)が消灯、電源プラグが外れていることを確認してください。
- ※運転ランプが点灯している場合には運転 をOFFにして、電源プラグをコンセント から外してください。



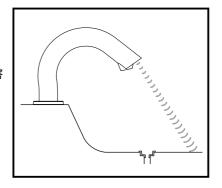
②止水栓を全開にしてください。



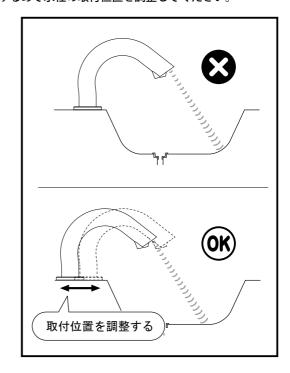
③電源プラグをコンセントに差し込んでく ださい。



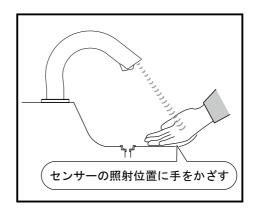
- ④電源を投入すると自動水栓が自動的に感知距離調整を行います。完了後はLEDが2回点滅します。
- ※調整に失敗すると青色のLEDが繰り返し 点滅し続けます。センサー面の汚れや障害 物の有無などを確認してください。 汚れや障害物を取り除くと再度自動的に 感知距離調整を行います。



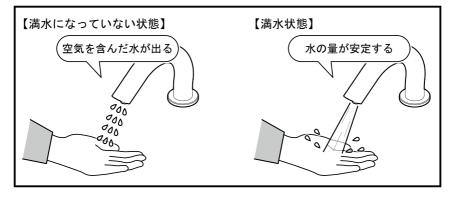
※センサーの照射先の形状が曲面、センサーの照射角に対して直角な面となっている場合は調整に失敗し続けることがあります。 その際は締め付けねじ等をゆるめて水栓の取付位置を調整してください。



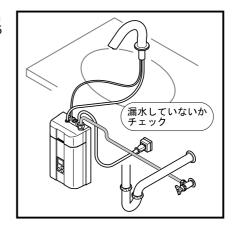
※自動水栓の取り付け位置調整でもセンサーの調整に失敗する場合は、センサーの照射位置(シンクのへりの位置付近:下図参照)に手をかざしてください。



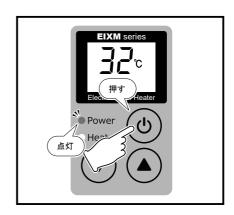
⑤湯沸器の運転ランプ(緑色)が消灯していることを確認した後、水の量が安定した状態で30秒以上連続して出水出来るまで自動水栓から出水してください。 (湯沸器内部が満たされるまで空気を含んだ水が出ます。)



- ⑥機器内部の空気をさらに抜くために出水、止水を繰り返してください。(出水5秒→止水1秒のサイクルを5回以上)
- ②各配管接続部分から漏水がないか チェックしてください。

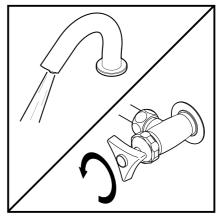


⑧運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)



- ⑨水栓から30秒以上流し続け、水温が上昇するのを確認できれば正常です。 昇温しない場合は機器内部の空気を抜け切れていない可能性がありますので再度手順⑥を行ってください
- ※自動水栓は手を差し出している状態でも、1分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。
- ※運転スイッチをONにしたあとの1回目 の運転では、0.8L/min以上の流量で30 秒以上の通水がされないとヒーターへ の通電を行いません。
- ⑩P.37「表示の切替方法」を参照し、現在流量を確認しながら水を出し、P.8「昇温温度の目安」を参考に止水栓で水栓の流量を調整します。





・流量を調整する際にセンサー部分に不透過のテープ(ガムテープ等)を貼り付けると手をかざさずに自動水栓から連続で出湯させることができます。

ただし自動水栓は節水機能により1分間で連続出湯を停止するため、出湯が止まった際はテープを貼り直して再度出湯する必要があります。





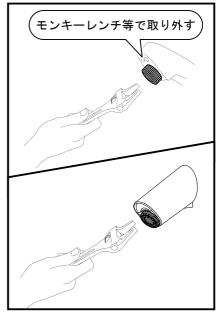


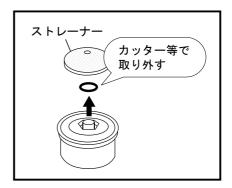


#### 【MKタイプ、SKタイプのみ】

流量が不足していると感じた場合には、吐水口部品内の定流量用Oリングを取り外すことで流量を増やすことが出来ます。

- ①モンキーレンチ等で吐水口部品を取り 外します
- ②吐水口部品からストレーナーを取り外します。(軽嵌合部品のため爪で引っ掛けると簡単に取り外せます)
- ③カッター等でOリングを取り外します。 Oリングを取り外した後はストレー ナーを取り付け直してください。





## 5.施工後の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか?	
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか?	
	<b>漏電ブレーカは正しく作動しますか?</b>	
電気工事	D種接地工事は正しく行われていますか?	
給湯	自動水栓に手をかざすとお湯が出ますか?	

# 取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

## 使用方法

## 1.使用前の準備と確認

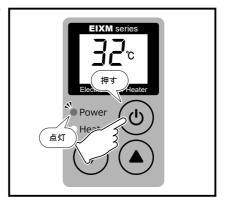
で使用の前に次の事をご確認ください。

#### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
	各配管、継手に漏水はないですか?	
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか?	
	本体の上には物などを載せていませんか?	

## 2.出湯する

- ①P.25『4.試運転』の①~⑩を参照し、湯沸器に給水してください。
- ②運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)



#### 使用方法

③水栓に手をかざして出湯してください。

手を離すと約1秒後に自動的に止まります。手を差し出している状態でも、1分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。

続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してからご使用ください。



- EIXMには通水量を検知するフローセンサーが組み込まれており、 水栓を開いて流した水量を検知することでヒーターへの通電を開 始し、お湯を沸かします。
- 運転スイッチをONにしたあとの1回目の運転では、0.8L/min以上の流量で30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。



- 使用中に出湯量(流量)が0.8L/min未満になるとヒーターへの通電がストップし、お湯になりません。他の給水による水圧変化や水栓の絞りすぎにはご注意ください。
- 手を離すと約1秒後に自動的に止まります。手を差し出している状態でも、1分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。

続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してから再度手を差し 出す動作を、必要に応じて繰り返してください。

●運転中にスイッチをOFFにすることで水のみでの使用が可能です。

#### 使用方法

## 3.各種設定方法

#### 設定温度を変更する

設定温度は操作部のアップキーまたはダウン キーを利用して変更します。

機種ごとに定められた設定温度の範囲内で、1℃ 刻みで設定可能です。

アップキー:押すごとに設定温度を1℃上げます。 ダウンキー:押すごとに設定温度を1℃下げます。

※各機種の出荷時設定温度はP.8「仕様」参照。



#### スイッチロック

いたずらや誤操作を防止するため、操作キーを全てロックさせる機能です。運転中、運転停止中 どちらでもロックさせることが可能です。

- ※スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。 また、停電からの復帰後はスイッチロックが 継続されます。
- ①運転スイッチを3秒間長押しします。 鍵マーク表示が出て操作をロックします。

スイッチロックを解除する場合は、再度運転 スイッチを3秒間長押ししてください。



#### 使用方法

## 最大出力値・連続運転ON時間を変更する

最大出力値と連続運転ON時間を変更することが可能な機能です。(Fモード)

変更する場合は、下記の手順に従ってください。

- ①アップキーとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。F0が点灯したら設定可能です。
- ②アップキーまたはダウンキーを押すことで「F0」 「F1」「F2」が順番に表示されます。

--- 各モードの意味 ·

F0:設定値初期値に戻す

F1:最大出力值設定変更

F2:本機種では使用しません



※運転ON(緑ランプ点灯)/運転OFF(緑ランプ消灯)のどちらの状態でも設定することが可能です。

### 〈Fモードの各種設定変更方法〉

F0の設定(設定を初期値に戻す場合)
 F0が表示された状態で運転スイッチを押すと、各種設定が初期値(工場出荷時)になります。画面表示は設定温度表示画面に戻ります。



● F1の設定(最大出力値を変える場合)

F1が表示されている状態で運転ス イッチを押すと、機種ごとの最大出力 値が点滅します。アップキーまたはダ ウンキーを押して、下記のように数値 を変更可能です。

運転スイッチを押すと確定し、設定温度表示画面に戻ります。



- EIWM112A0-□□(1.25kW):1.2\*→1.0
  ※1.25kWは表示可能桁数の影響で「1.2」の表示となります。
- •EIWM225A0-□□(2.5kW):2.5→2.0→1.5→1.0

### 使用方法

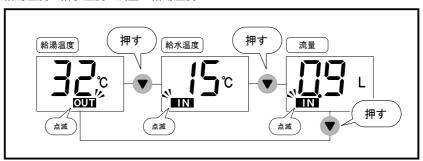
# 4.表示の切替方法

本機器には、フローセンサー(流量)、給水サーミスタ(給水温度)、給湯サーミスタ(給湯温度)が搭載されており、以下の手順で各種情報を確認することができます。

①運転スイッチとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。



②現在状況の確認モードに移行し、現在の給湯温度を表示します。 ダウンキーを押すたびに表示が切り替わり、以下の順に表示されます。 給湯温度→給水温度→流量→給湯温度→・・・



③運転スイッチを押す、または10分間無操作で初期画面に戻ります。

# 保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回/月
漏水全般についての 点検	湯沸器本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回/日

## 凍結対策について

あたたかい地域でも冬期は湯沸器の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。 そのような場所に湯沸器を設置することはできません。

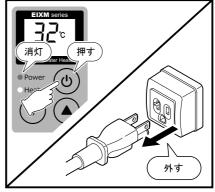
また湯沸器が凍結しない場所にあっても、接続される配管内の水が凍結し破損事故が 起こることがあります。そのような場合には事故を防止するために保温工事等の必要 な処置を施してください。

なお、凍結による破損事故は保証期間内であっても保証の対象とならず、有料修理と なります。

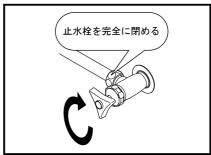
外気温が極端に低くなる(凍結が予測される)日や、それ以上の外気温でも風がある 日、低温注意報が発表された際などは次ページの内容を確認し、対処してください。

## 長期間使用しないときは

- ○凍結のおそれがない場合
- ①運転スイッチを押して運転OFF状態に します。(緑色のランプが消灯します)
- ②電源プラグを抜きます。



- ③止水栓を閉め、給水を止めてください。
- ※水のみでで使用を続ける場合には、電源 プラグを抜かず止水栓を開けたままにしてください。

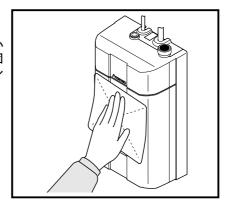


## ○凍結のおそれがある場合

湯沸器本体を取り外し、凍結しない場所で保管してください。

# 外装の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



# 吐水口の清掃(MKタイプ、SKタイプのみ)

吐水口に水垢やスケールが付着すると、水栓から出るお湯(水)の量が少なくなったり流れが乱れたりしますので、清掃を行ってください。

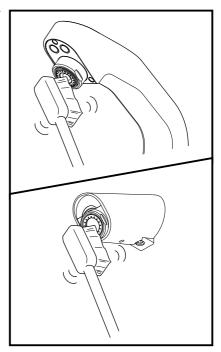
※FBタイプはミスト状の吐水で汚れを洗い流す構造となっているため、清掃の必要はありません。

## 清掃前の準備

- ①以下のことを確認してください。
  - ・運転スイッチがOFFになっている。
  - ・電源プラグがコンセントから外れている。

## 清掃を行う

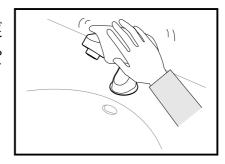
①ナイロンブラシなどで吐水口に付着して いる水垢やスケールをはがします。



## 自動水栓のお手入れ

### 【本体のお手入れ】

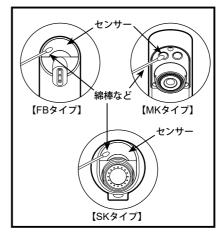
水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



### 【センサー部のお手入れ】

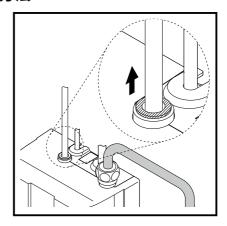
水に浸した綿棒などで汚れを拭きとってください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸した綿棒などで汚れを拭きとった後、水拭きしてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

清掃時はセンサー面を傷つけないようご 注意ください。



# 給湯接続チューブの取り外し方法

給湯接続口付近(斜線部)を押しこんで、 給湯接続チューブを引き抜いてください。



# こんなときは

# 故障かな?と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理で依頼の前にで確認ください。 ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、P.48故障状況シートに記載の上、アフターサービス窓口までで連絡ください。

状況	ご確認ください	対処方法	
	断水ではありません か?	断水が終了するまでお待ちください。断水が終了した後、お湯が濁っているような場合には濁りがなくなるまで出し続けてください。	
		閉まっていたら開けてください。	
水もお湯も出ない または出が悪い	止水栓が閉まっていませんか?	止水栓を開けても流量が足りないと感じた場合にはP.30を参照して定流量用のOリングを外してください。(MKタイプ、SKタイプのみ)	
	給水圧力が低すぎませ んか?	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が 0.15MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は管 理技術者の方へご相談ください。	
	配管は正しく行われていますか?	給水圧力が適切でも配管方法によって出が悪くなる場合があります。配管が正しく行われているか管理技術者の方へご相談ください。	
	吐水口が汚れていませんか?	P.40『吐水口の清掃』をご参照の上、センサー部を清掃してください。	
	自動水栓のセンサーが 汚れていませんか?	P.41『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。	
	配管が凍結していませんか?	凍結する場所ではご使用できません。	
お湯が出ない (水のまま、または ぬるい)	停電ではありません か?	電気の復旧をお待ちください。	
		一次側の漏電ブレーカをONにしてください。漏電や電気容量オーバーの可能性がある場合は使用せずに管理技術者の方へご相談ください。	
	運転がOFFになってい ませんか?	運転をONにしてください。	
	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか?	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。	
	電源が入った直後では ありませんか?	電源が入った直後は、すぐお湯になりません。P.25 『試運転』を参照し、試運転を行ってください。	
	電圧を間違えていませんか?	200Vの機種に100Vを入れると能力が低下し、ほとんどお湯になりません。電圧を確認してください。	
	給水圧力が低すぎませ んか?	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が 0.15MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は管 理技術者の方へご相談ください。	

## こんなときは

状況	ご確認ください	対処方法
	出湯量(通水量)が少な くありませんか?	湯沸器が適切に運転するための最低出湯量(通水量)は0.8L/min以上です。これ未満の場合、運転が行われません。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
お湯が出ない (水のまま、または ぬるい)	給水温度が低すぎませんか?	機器能力以上の出湯はできません。P.8『仕様』をご 確認ください。
	空気の混ざった水が吐 水されていませんか?	機器内部の空気が抜け切れていない可能性があります。P.27の手順⑤以降を実施し、機器内部の空気を抜いてください。
	出湯量(通水量)が多す ぎませんか?	機器能力以上の出湯はできません。P.8『仕様』をご確認ください。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
	水栓が故障していませんか?	故障の場合はアフターサービス窓口までご連絡く ださい。
深ったセ涅が山ス	断水や水道工事の直後 ではありませんか?	濁りがなくなるまで出し続けてください。
濁ったお湯が出る	配管が腐食していませんか?	配管のサビ等による赤水が続く場合は管理技術者 の方へご相談ください。
お湯が止まらない	自動水栓のセンサーが P.41『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、セン 汚れていませんか? 部を清掃してください。	
湯(水)がすぐに	自動水栓のセンサーが 汚れていませんか?	P.41『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
上まる	自動水栓の吐水開始から60秒経過していませんか?	自動水栓は吐水から60秒経過すると自動で停止します。再度手をかざして吐水し直してください。
温水している	湯沸器本体からの漏水 ですか?	止水栓を閉め、プラグを抜いてください。アフター サービス窓口までご連絡ください。
楠小している	配管接続部からの漏水ですか?	配管接続部を締め直してください。
自動水栓のLEDが 点滅し続けている	自動水栓のセンサーが 汚れていませんか?	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。P.41 『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を 清掃してください。
	自動水栓のセンサー付 近に障害物などがあり ませんか?	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。P.26 『4.試運転 手順④』を参照し、再調整を行ってください。
使いはじめに 設定温度より高い 温度のお湯が出る	エラーコード(E1また はE9など)が出ていま せんか?	エラーコードが出ている場合には、P.44『エラーコードについて』を参照し、対処してください。エラーコードが出ていない場合でも設置環境や配管などの影響により、繰り返し使用時に設定温度よりも高い温度で出湯する場合がありますが、故障ではありません。

これらの対処を行っても改善されない場合は、アフターサービス窓口までご相談ください。

# エラーコードについて

湯沸器に異常が発生すると運転ランプ(緑)が点滅し、エラーコードが点滅表示されます。下表を参照し、対処してください。

対処後にもエラー発報が頻発・連続する場合には、アフターサービス窓口にご連絡ください。



エラーコード	機器の状態	対処方法
E1	給水温度が高くなって います。 (45℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから 運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一 度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E2	給水温度もしくは給湯温 度が高くなっています。 (50℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから 運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一 度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E0 E4	給水サーミスタの故障 の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフター サービス窓口にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタの故障 の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフター サービス窓口にご連絡ください。
E7	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービ ス窓口にご連絡ください。
E8	電圧を間違えている、またはヒーターが断線している可能性があります。	200Vの機種に100Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。 ヒーターが断線している場合は部品交換が必要になりますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。

## こんなときは

エラーコード	機器の状態	対処方法
E9	電圧を間違えている可能性があります。	100Vの機種に200Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。
EE E-	機器のプログラムエラー の可能性があります。	電源プラグを抜いて、再度差し込んだ後に運転ス イッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転 スイッチを押して動作を確認してください。
EF	機器内部にエアーが残っ ている可能性があります。	1分間程度水を流してから運転スイッチを押して エラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押し て動作を確認してください。

## その他の表示について

上記のエラーコード以外にランプが点滅している等、通常運転状態とは異なる表示が 出ている場合にはアフターサービス窓口にご連絡ください。

## 停雷後の対応について

停電後の最初の運転では、0.8L/min以上の流量で30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。

運転中に停電が起きた場合は運転ON状態で、運転停止中に停電が起きた場合は運転 OFF状態で復帰します。

設定温度やスイッチロックの機能も維持したまま復帰します。

また、停電後に水が出ない場合には自動水栓の感知距離調整が失敗している可能性があります。

センサーの青色LEDが点滅していたらP.26『4.試運転 手順④』を参照し、再調整を行ってください。

アフターサービス

# アフターサービス

## 消耗品について

下表に記載する部品は故障時に交換が可能な消耗部品です。劣化による動作不良などが起きた際に、弊社アフターサービススタッフにて交換を推奨している部品となります。

(機器内部は精密となっており、お客様ご自身での交換はできません。)

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由	
水量センサー	設置日より	長期間で使用いただくことにより、経年 劣化やスケール*による動作不良や漏水	
ヒーターカートリッジ	5年~	を起こす可能性があります。漏水が起き   た場合大きな被害を与えることがあり	
正面ケース		ますので、交換することによりそれらを	
操作液晶部	_	防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。	

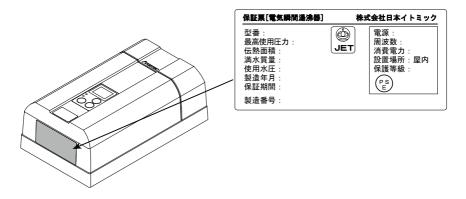
<sup>※</sup>上記以外でもパッキン類や電気部品の交換が必要になる場合や、水管などの樹脂成形部品がウォーターハンマーなどの外的要因によって破損した場合は水管ユニットの交換が必要になることがあります。

## 補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

# 修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.48の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お 電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体底面 に貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)



## アフターサービス

## アフターサービス窓口

TEL

|〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です) **30570-011039** ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報を ご用意ください。

受付時間: 24 時間 365 日 (営業時間: 8:45~17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

#### 【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合がありま す。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問 い合わせください。

関東地区のお客様: 03 (3621) 2161 関東地区以外のお客様: 裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

### インターネット〈インターネット修理受付窓口〉

### https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に 担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.48 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

取扱説明 アフターサービス

故障状況シート				
貴 社 名				
ご担当者名				
ご 住 所				
T E L				
F A X				
製品型番	EIXM	A0-		
電源・電力	単相	V	kW	
製造番号				
設置場所				
保証期限				
状 態				

# 【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口にご依頼ください。

- 1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
- 2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地(離島および離島に準ずる遠隔地)への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
- 4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
- 5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
  - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合\*1
  - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗 による不具合
  - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
  - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
  - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
  - (6) 指定規格以外の電気(電圧・周波数など)の使用や電力契約の間 違いによる不具合
  - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
  - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
  - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
  - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
  - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経 年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
- 6. 無料修理により交換された部品や製品は(株)日本イトミックの所有 となります。
- 7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。
- ※1:日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがでざいます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、温水器の取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。
- ※2:製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずで確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にで相談ください。

## ■お客様へ

- 1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
- 2. 保証票の再発行はいたしません。
- 3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理で依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
- 4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、温水器等の取扱説明書「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
- 5. 保証票によって、保証票を発行している者(保証責任者)およびそれ 以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではあり ません。

# 株式会社日本プトミック

本社・営業本部 · · · TEL:03 (3621) 2121 (代) FAX:03 (3621) 2130

〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2

東京スカイツリーイーストタワー 24F ホームページ https://www.itomic.co.jp/

### 《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が 有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡く ださい。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課・・・TEL: 03 (3621) 2760 FAX: 03 (3621) 2160

### 《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご 用意ください。



### 【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、 話中の音が流れる場合があります。

その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。 ※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合 には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域の お客様は最寄りの営業所まで直接お電話ください。

関東地区 · · · · · · · · · TEL : 03 (3621) 2161

FAX:03 (3621) 2163

## 《担当エリアと営業所》 -

· TEL:011 (615) 6681 北海道営業所 FAX:011 (615) 7004 〒 063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館) 担当エリア:北海道地区全域 東北地区 ..... · TEL: 022 (357) 0848 東北党業所 FAX: 022 (357) 0847 〒 983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21 担当エリア:青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県 (株) 日本イトミック 本社 FAX: 03 (3621) 2130 〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F) 担当エリア:東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/神奈川県/山梨県/新潟県/静岡県 中部営業所 FAX: 052 (222) 2559 〒 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F) 担当エリア:富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県 · TEL: 06 (7177) 4949 関西営業所 FAX: 06 (7177) 4948 〒 541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町 II 7F 担当エリア:大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県 ·· TEL: 082 (240) 1361 FAX: 082 (240) 1363 中国営業所 〒 730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F) 担当エリア:鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/香川県/徳島県/愛媛県/高知県 · TEL: 092 (481) 3911 九州営業所 FAX: 092 (481) 3930

する場合がありますのでご了承ください。

担当エリア:福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県 ※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

iX00D23001-1 '25.01-1-1-0.3 ()